

シンポジウム

歴史教育の未来をひらくII

知識の精選と歴史的思考力

2017年3月20日(月・祝)

12:30 ~ 17:30

日本大学文理学部

図書館3階オーバルホール

プログラム

司会：古川隆久（日本大学・日本近現代史）

趣旨説明：小浜正子（日本大学・中国史）

報告1 小島孝太（愛知県立犬山高校・世界史教育）
歴史的思考力とその評価方法について

報告2 中村 薫（大阪大学・社会科教育法）
世界史B・日本史Bの用語選定案について

報告3 梅津正美（鳴門教育大学・社会科教育学）
社会研究 (Social Studies) のための歴史教育
—米国歴史カリキュラムが示唆するもの

*** 休憩 ***

紹介 川島啓一（同志社高校・世界史教育）
高大連携歴史教育研究会・教材共有サイトについて

報告4 渡辺哲郎（日本大学習志野高校・日本史教育）
高校日本史の授業をアクティブ・ラーニングにできるのか
—授業実践を手がかりに

報告5 小浜正子（日本大学・中国史）
ジェンダー視点のある歴史教育とは何か

コメント1 赤間幸人（北海道教育庁・世界史教育）

コメント2 小野雅章（日本大学・日本教育史）

総合討論

終了後、学内で懇親会を行います（会費 3,000 円程度）

主催

日本大学文理学部人文科学研究所総合研究
「近現代の諸地域における歴史と歴史認識の関係をめぐる諸相」
(研究代表者：古川隆久)

共催

日本大学史学会 高大連携歴史教育研究会

※当日の参加も歓迎ですが、あらかじめ参加を予定されている方は、人数把握のため、
rekishikyoiiku20170320@outlook.jp まで、お名前・ご所属・懇親会参加有無を
ご一報いただければ幸いです。



東京都世田谷区桜上水 3-25-40
京王線下高井戸駅または桜上水駅から徒歩 8 分